

いつも心に淑徳魂。 何事にも楽しく挑み、 自分の道をひらく。

愛知淑徳での笑顔の日々が 人生の原点。

「毎日をいかにおもしろくするか」と考え、何事にも積極的に取り組んだ、愛知淑徳での8年間。中高では器械体操や乗馬、ゴルフなどのクラブ・サークル活動に励み、ハワイ留学にも挑戦しました。先生方のモノマネが得意で、学園祭のステージで披露したことも思い出の一つです。短大に進学後は、心理学や環境科学をはじめ多様な分野を学び、アルバイトでラジオ番組組に出演するなど、より広い世界に触れました。

社会人になってからも、「おもしろさ」を追求してチャレンジを重ねる日々でした。テレビ局や証券会社、広告制作会社などでさまざまな仕事を経験した後、海外で日本文化を伝えたいと思いアメリカへ。寿司職人でワーキングビザを取得しました。サンディ

互いに高め合い、 感謝の輪を広げる会社へ。

エゴで初めての女性寿司職人として話題になり、寿司を握りながら、現地の人々とのコミュニケーションを楽しみました。結婚・出産を機に帰国してからは、NPOを立ち上げ、愛・地球博記念公園を盛り上げるイベントの企画・運営に熱中。そんなふうにより、多くのことに楽しく挑んできた私の軸は、「人を笑わせることが好き」という気持ちです。愛知淑徳生だった頃から、ずっと変わっていません。いつだって淑徳魂を胸に、笑顔で走り続けてきました。

私が社長を務める株式会社愛知製作所は、祖父が1938年に創業した会社です。産業用ガスの販売や機器類のメンテナンスなど、ガスに関連するあらゆる事業に取り組んでいます。この家業に、私は20年ほど前

から携わってきました。力を入れたのは一般の方々や地域の方々向けの新事業。バルーンアートを扱い、多くの人の心が晴れるようにとの願いを込めて「ハレの日バルーン」というショップも始めました。社長に就任したのは、コロナ禍真っただ中の時期でした。大変なことも数知れずありましたが、社員一丸となり、お客様へのサービス向上や安全管理の徹底など改善・改革を進めてきました。社員が互いに高め合える、共に笑い合える会社として成長し、お客様や地域の皆様に愛され続ける会社をめざしたいと、淑徳魂を燃やしています。



特技のモノマネで学園祭を盛り上げた高校時代。人の笑顔を見ることが好きで、漫才師をめざしていた時期もありました。



「ハレの日バルーン」ではバルーン装飾の作図や制作に携わり、大切な日、大切な人へ贈るオリジナルギフトを形にしています。

株式会社愛知製作所
代表取締役社長

柴田 麻美さん(旧姓:辻)

愛知淑徳短期大学家政学科を1984年3月に卒業。メディアや金融などの会社勤務、アメリカでの寿司職人としての活躍など、多彩なキャリアを積む。2006年から家業である株式会社愛知製作所に勤務し、2023年より代表取締役社長に就任。